

質問日	令和2年9月29日(火)			質問方式	分割方式		
質問順位	3	会派名	自由民主党浜松	議席番号	15	氏名	久米 丈二
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 奥浜名湖周辺エリアの観光振興について	<p>奥浜名湖周辺エリアには、三ヶ日高山ふれあいの森公園やみかんの里農村公園などの豊かな自然を生かした公園がある。ここは、猪鼻湖や太平洋まで一望できる素晴らしい環境にある。現在、本市には4つのキャンプ場があり、特筆すべきは水窪オートキャンプ場と龍山秘密村のキャンプ場で前年度比150%の利用率とのことである。コロナ禍の3密を避けての利用率上昇と思われるが、コロナ後の観光を考えると自然の中での観光が今まで以上に広がっていくと考える。</p> <p>また「ゆるキャン△」というアニメがブームとなっており、これは女子高生が主人公のキャンプブームの火付け役となった作品で、来年1～3月放送予定のテレビアニメでは、奥浜名湖周辺も舞台となっているとのことである。これは、奥浜名湖周辺の観光・地域振興・ロケ地・絶景ブームがやってくることが期待できる。そこで、現在でも本市のキャンプ場の利用率が高く、今後も期待できることから、以下の4点について伺う。</p> <p>(1) 奥浜名湖周辺の観光振興をどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 奥浜名湖エリアに、国の制度や民間活力を使いキャンプ場を整備したらどうか伺う。</p> <p>(3) 奥浜名湖地域は高山展望台をはじめ眺望が期待できる場所が多くあることから、この眺望のよさを活用した事業が必要と考えるがどうか伺う。</p> <p>(4) 来年1月からアニメの「ゆるキャン△」第2期がスタートするが、メイン画面の奥浜名湖展望台が立入りできない状態となっている。県と連携して展望台を再生するなど「ゆるキャン△」を活用した誘客を展開する考えについて伺う。</p>						鈴木市長 " 高田北区長 石坂観光・ブランド振興担当部長
2 三ヶ日高山ふれあいの森公園の整備について	<p>三ヶ日高山ふれあいの森公園は、三ヶ日市街地の北部に位置し、県の田園空間整備事業として農村公園と景観展望台が整備され、その後、市民の憩いと自然観察の場として約4キロメートルの散策路が整備された。</p> <p>現在、北区直虎ビューポイントとして認定されており、近隣地域が一望できる公園で地域の宝でもある。</p> <p>この公園内には、「金らん」「笹ゆり」の群生が確認されており、特に「金らん」は貴重品種であり、これらの保全が将来の奥浜名湖の観光資源としても大変重要と考える。そこで、以下の2点について伺う。</p> <p>(1) 三ヶ日高山ふれあいの森公園の今後の保全の考えを</p>						山下農林水産担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>3 本市の今後の農業労働力確保について</p> <p>4 本市の耕作放棄地対策について</p>	<p>伺う。</p> <p>(2) 希少植物の保護について伺う。</p> <p>本市では170品目を超える農産物が生産され、高品質で全国的に知られている農産物が多くある。これらを生産しているのは、本市の認定農業者の人々だが、農業現場は常に人手が足りず近隣の市町にも働き手を募集しているがなかなか集まりにくくなっている。</p> <p>本市の農業を持続的に発展させていくためには、農業労働力の確保に向けた取組は非常に重要だと考える。新型コロナウイルスの影響により、大きく社会も変化する中における本市の取組について、以下の2点について伺う。</p> <p>(1) 農業労働力確保に向けた今までの取組について伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染拡大による社会の変化を踏まえた労働力確保に向けた今後の新しい取組について伺う。</p> <p>現在、本市の耕作放棄地の推移を見てみると、平成27年には921ヘクタールであったが、令和元年には798ヘクタールと123ヘクタール減少している。これは、平成21年度から平成30年度まで、国と県と本市における協調助成があり、平成31年度からは本市単独助成制度となったが、これらの効果があり減少傾向にあると思われる。しかし、本市の農産物の売上高を見てみると、平成27年には510億円だったが平成30年には487億円と全国7位を誇る農業産出額であるが、減少してきている。これは農業者の減少、条件の悪い農地が借手もなく荒廃化してしまい、耕作地周辺の営農環境の悪化につながっていることなどが影響していると考えられ、大きな問題となっている。本市としてもしっかりとした荒廃農地対策を講じていかなければならない。</p> <p>そこで、耕作放棄地対策が始められた平成21年度からの10年間とは異なる時代となっていることから、新たな時代に向けた耕作放棄地対策の展望について伺う。</p>	<p>山下農林水産 担当部長</p> <p>山下農林水産 担当部長</p>
<p>5 浜松オートレース場の集客対策と浜松パワーフードプロジェクトの推進について</p>	<p>浜松オートレース場は、コロナ禍により、令和元年度は、集客数、売上げとも減少したが、近年は微増していた。現在、耐震化のためメインスタンドの改築工事が進んでいるが、せっかく新しい施設に更新しても新たな集客システムを構築していかなければ来場者は増えないと思う。地元の農作物を使ったフードコーナーの設置や地域と融合し、多くの人たちの憩いの場としての機能も持たせなければいけないと考えることから、以下の3点について伺う。</p> <p>(1) 現在、メインスタンドの改築工事をしているが、集客</p>	<p>藤野産業部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>を増やす具体的な方策を考えているか伺う。</p> <p>(2) 現在、本市では浜松・浜名湖地域で生産、漁獲された安心な農水産物やその食材を使った料理を広げるため、浜松パワーフードプロジェクトを推進している。ついては、ファン層拡大のためにも新しい施設のフードコーナーにパワーフードを取り入れ、地元の食材を活用することで、今までオートレースに興味のなかった人たちも集客できるような魅力ある施設を目指してはどうか。</p> <p>(3) 近隣地域住民が地震や洪水などの大規模災害時に一時的な避難場所として、オートレース場の施設を活用できないか伺う。</p>	
<p>6 学校給食用食材の安定供給について</p>	<p>現在本市では、栄養面・おいしさ・地場製品の活用など、様々な面からみて、非常に質の高い給食が提供されている。その給食を支えているのは、質の高い食材の安定的な供給である。これまで食材納入業者が学校からの要望に応え、本市の学校給食を支えるべく様々な企業努力により、質の高い食材を安価で安定的に供給してきた。しかし児童数の減少、また自然災害による農作物の価格高騰、小規模業者の後継者問題などが、安定的な食材の納入に大きな影を落としており、三ヶ日地区も例外ではなく、昨年度、三ヶ日地区の各学校に食材を納入していた規模の大きい業者2社が三ヶ日地区から撤退し、代替りの業者探しに苦慮したということであった。これらを見ても、限られた数の業者に食材調達を頼らざるを得ない状況が様々な問題につながることは明白である。また、少ない業者が遠距離の配送を強いられていることによる問題も起きている。食肉類や魚介類等は、当日の納品に限定しているため、幾つかの学校を回って配送する場合、最初に配送する学校は納入時間が早くなるために、早い時間の納品に対応している学校もあると聞いている。</p> <p>これらの事例から、今までの給食用食材の納入の仕方、配送方法等の見直しを行う必要性を強く感じるところではあるが、昨年9月定例会で教育長が答弁していた学校給食の公会計化は、見直しのよいきっかけになるのではないかと考える。そこで、学校給食の公会計化を機に、安全安心な食材が、安定的に供給される体制を整えるための手立てとして、以下の2点について伺う。</p> <p>(1) これまで地元の学校の給食用食材の提供を支えてきた業者を生かしつつ、今後の安定的な食材供給を可能にする新たな体制づくりとして、教育委員会ではどのような手立てを考えているのか伺う。</p> <p>(2) これまで当日納品に限定してきた食肉類・魚介類の生鮮食品の、前日納品の可能性を探る必要があると考えるが、その場合、学校給食法・学校給食衛生管理基準に基</p>	<p>伊熊学校教育部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>づいた食材納入とするために、冷蔵庫・冷凍庫等のハード面の充実が必要である。教育委員会の見解はいかがか伺う。</p>	
<p>7 三ヶ日御園地区における浸水対策について</p>	<p>近年、西日本を中心に台風と集中豪雨による被害が頻発する事態が起きている。これに対する市民の不安は、水害が懸念される浜松地域においても高まっている。三ヶ日御園地区は町の中心部に近いため、昭和50年代から宅地開発が進み、住民が倍増した地域である。しかしその多くは水田を埋め立てた低地に建てられているため、過去には、深夜に幼い子供を抱えて膝まで流れる激流の中を避難することもあったと聞いている。3年前には、本市が上流の堂田橋に大きな土のうを設置し流入水量を制限する処置が行われ、以前よりは道路の冠水の回数は減っている。しかし、そのときの説明会でこれは応急処置である旨の説明があったが、その後の対策はされていないため、本市が実施したこれまでの対策を踏まえ、今後の浸水被害の対策について伺う。</p>	<p>高須土木部長</p>